

総 会 次 第

平成26年7月5日（土）
9時30分～11時30分
長岡京駅前バンビオ1号館

1. 開会の言葉（司会）梶原
2. 挨拶（理事長）稲岡理事長
3. 議長選出（司会）梶原
4. 議事録署名人選出（ここから議長）野本、世良田、原（書記 大西）
5. 審議事項（議案の決議）
 - 第一号議案 平成25年度事業報告および決算報告について
活動報告（野本理事）
事業報告（稲岡理事長）
決算報告（小椋理事）
監査報告（竹内監事）
 - 第二号議案 平成26年度事業計画並びに収支予算について
事業計画（稲岡理事長）
収支予算（小椋理事）
6. 来期理事・監事の選出と就任
 - 選挙による選出方法の確認（稲岡理事長）
 - 投票、開票（小林さん、稲岡喜さん）
 - 新理事の就任挨拶
（ここで10分間休憩）
7. 連絡報告事項
8. 閉会の言葉（司会）荒木

NPO法人 竹の学校 2013年度 活動報告

2014.6.30

年 月	作業日数	会員参加数 (ゲスト人数)	活動内容
13.06	8	104	(1) A 竹林内のサバエ刈・施肥を実施。野山放置竹林の枯れ竹の整理・間伐作業 第6回定例総会(6/29 出席20名委任9名)開催
13.07	9	100	(11) 野山の放置竹林の枯れ竹の整備・間伐作業をして竹材(5m×220本)を依頼者(ツバキエマツンKK)へ搬出した。 TBS ラジオ(3名)取材
13.08	6	41	(3) 8/3「まちかどトーク」に7名参加し市長と対話した。 立命館中高新学舎の内装用の竹材(2.7m×260本)の準備。
13.09	8	102	(20) 立命館高校生・引率者(11名)竹林作業を体験。 内装用の竹材搬出終了。A 竹林サバエ刈・施肥実施。 長岡京「竹あそび」の展示品準備。
13.10	11	105	(1) 長岡京「竹あそび」に竹行灯(400ヶ)・竹灯籠(50ヶ)・竹箒を 展示した。展示場所の古竹・廃材を整理整頓実施。 間伐・焼却作業
13.11	9	131	(12) 金ヶ原地区の放置竹林を整備し、廃竹を搬出焼却。施肥・ 藁敷き・土掘り・土入れ作業を実施。「環境フェア」の行事で 竹灯籠を展示し造り方を実施。長岡中学野球部員(9名)引率者 (3名)竹林土入れ体験。
13.12	6	80	(3) 藁敷き・土入れ作業・間伐竹の焼却作業 12/21 懇親会(20名参加)実施
14.01	7	95	(2) 土入れ作業(1/22 終了)。金ヶ原地区の放置竹林を整理し廃竹を 搬出焼却
14.02	8	94	(12) 金ヶ原地区の放置竹林を整理し廃竹を搬出焼却。福井県嶺南 振興局関係者(12名)が竹林内を見学。B・C 竹林整理
14.03	9	120	(21) 金ヶ原地区の放置竹林を整理し廃竹を搬出焼却。森林ボランティア 養成講座メンバー(8名)体験。豊田市亀首町まちづくり会メンバー (13名)見学。タケノコ初掘り。
14.04	14	210	(86) タケノコ掘りが本格的となり、作業を一時2日/週から 3日/週に 変更した。エコツアー86名(子供18名)参加。 ホダ木に、しい茸菌打ち込み実施。
14.05	10	104	(92) 新竹の先止め作業・エコツアー40名(子供12名)・竹林整理 体験団体(43名)参加。金ヶ原の竹林で竹材(5m×200本)を用意

[計] 105日 1286人 (264)人

(法第28条第1項関係様式「前事業年度の事業報告書」)

平成25年度事業報告書

平成25年6月1日から平成26年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

1 事業の成果

NPO法人として6年が経過して、会員の高齢化・世代交代等の課題はあるが、放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用、タケノコの伝統栽培の継承を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

今年は、TBSラジオの環境特別番組の取材に協力、環境問題として放置竹林整備をしているボランティア活動も紹介頂けた。

また、林業改良普及双書「竹林整備と竹材・タケノコ利用の進め方」に竹の学校として「放置竹林の整備とタケノコ生産、竹材活用とそれらの普及活動」について投稿し、発刊された。竹との共存について各種団体活動をまとめられており、今後の活動に役立つものと思う。

2 事業の実施に関する事項

【特定非営利活動に係る事業】

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 野山竹林及び金ヶ原竹林	延べ235名	企業 45名	432千円
事業 内 容	<p>【目的】 放置竹林を整備し、水資源の涵養、竹林の環境美化活動に貢献する。</p>			
	<p>【内容】 現在、放置竹林1.2万㎡を維持管理している。維持は枯れ竹処理と間伐処理のみ実施している。(たけのこ畑4千㎡は除く)</p> <p>1. 長法寺竹林 (B竹林、C竹林) 面積4千㎡ 長法寺竹林は作業を開始してから6年を経過し、現在は定期的に間伐とタケノコの処理を実施している。</p> <p>2. 野山竹林 (面積1.5千㎡) 野山竹林の間伐作業は2年目になり、今年は間伐作業とタケノコ処理を実施した。不要の枯れ竹等の搬出は、地主様のトラックで搬出処理した。竹林は西山ハイキングそばにあり、景観が楽しめるようになった。</p> <p>3. 金ヶ原竹林 (面積1.5千㎡) 金ヶ原竹林は1年目のため、枯れ竹の処理をしてからでないと竹林に入ることができず、倒れている枯れ竹処理と立ち枯れ竹の処理のみを実施した。その枯れ竹を焼却のためレンタカーを借りて長法寺竹林まで運び焼却作業を実施した。隣接の住宅より感謝されている。</p> <p>【活動の成果と課題】 管理竹林整備面積1.2万㎡になり、さらに、こらさ竹林7千㎡を管理する。水資源の涵養にも寄与し、周辺の環境美化ができ、市住民より感謝されている。 現在、作業者の高齢化のため、会員の若返りをして活動の継続化をしていくことが急務である。 企業のボランティアの参加しやすい動機つくりのためボランティア養成講座、タケノコ抜きイベント等を長岡京市役所と考えてゆきたい。</p>			

② 事業名 伐採竹の有効活用

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 野山竹林及び金ヶ原竹林	延べ235名	企業 45名	11千円

事業内容

【目的】

放置竹林の整備に伴う、大量の伐採竹の処理を焼却以外の利用に取り組む。

【内容】

エコ活動支援団体の協力を得て、大量の伐採竹を供給できた。
竹の利用用途拡大検討として、竹炭の粉碎を試行。

①ツバキエマソン殿

野山竹林は地主、企業と竹の学校が協力して、青竹を竹をヨシズとして使用、節電対策用に活用する取り組みを実施し、昨年に引き続き伐採竹(5m)を220本提供した。

伐採処理は竹の学校が担当し、運搬は工場サイドで負担。(7/20)

②立命館中高校殿

長岡京市に移転してくる立命館中高校の新校舎の内装材(天井板)に、長岡京の竹を活用するため、竹の学校に相談があり、対応した。

立命館中高校、鹿島建設、市役所、高野竹工、竹の学校で合意し、長法寺竹林から竹材(2.6m×約φ10cm)290本を提供した。(8/21~9/28)

③オーガニックnico殿

エコグリーンハウスの熱源槽の通気カバーとしての竹スノコ(加工品)を65セット出荷した。

竹の学校としては初めての加工品の供給。伐採竹100本程度活用。
(8/21~3/22)

④竹の利用用途拡大を検討

竹炭を土の改良に利用するため、竹炭を粉碎することを試行。粉碎は竹チップパー、家庭の園芸用粉碎機で5mm程度に粉碎できるテストも実施。

【活動の成果と課題】

竹林内での積み上げや、焼却場へ搬送の必要もなく、焼却せずに大量の伐採竹を消化できた。

ツバキエマソン殿のように、継続して利用いただけるのが理想。

立命館中高校の内装材は、本年9月の開校が楽しみ。長岡京の竹を使っていることで話題となると思う。

竹をチップ化してプラスチック材料として活用することを、協業で検討して行くとともに、竹チップパーの導入も検討してゆく。

③ 事業名 たけのこ伝統栽培の保存継承

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市 長法稲荷神社隣接竹林	約700人	126名 (エコグループ)	108千円
事業 内 容	<p>【目的】 京都式軟化栽培法の継承により、美しい竹林を維持。 エコツアー受け入れによって、竹林を開放し、美化活動への啓発に寄与する。</p> <p>【内容】 一連の作業（新竹の先止め・下草刈・肥料撒き・ワラ敷き・土入れ）を実施してきた。 今年度は天候に恵まれて、例年以上の作柄となった。 収穫したタケノコ（1700kg）は会員・エコツアー体験者等に頒布した。 エコツアーが、環境保全・水資源涵養につながることを「竹林講座」の講義を継続。</p> <p>【活動の成果と課題】 会員・エコツアー体験者に安価でタケノコを頒布することで活動を維持。 会員には昨年より安価でタケノコを頒布出来たが、年々高齢化していく中での作業 （土入れの運搬作業）の負担が大きく例年より約2週間おくれた。対策の一つとして、 土入れ作業を早く出来るように、バックホウを早期に使用する事を検討する。</p>			

④ 事業名 地域活動／竹工芸・竹林のオープン

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
農閑期の毎土曜日 (6～9、1～3月) 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林の作業場	約200人	展示会に来場の 一般の市民 約1000人	34千円
事業 内 容	<p>【目的】 竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作、および作品展示、また、各種団体、個人の見学の受け入れ、竹林作業の体験を受け入れ等で地域活動に貢献して、啓発活動に寄与する。</p> <p>【内容】 主に竹林の農閑期を利用して、定期活動日に会員有志で活動。 本年度の各種イベントへの製作品展示と、見学受け入れ等は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・07/06(土)「TBSラジオ」環境活動取材 ・07/06(土)「屋上緑化団体」訪問 ・07/17(水)「そうめん流し用半割り竹出荷」 ・08/03(土)市長との「まちかどトーク」に参加 ・08/04(日)「こども地域体験塾@やわた」で講演 ・08/24(土)「京都造形芸術大学生の訪問」竹工芸の相談 ・09/11(水)「長岡京市インターンシップ生」見学受入 ・09/28(土)「立命館中高生徒」竹林作業参加・竹材出荷 ・10/09(水)「京都新聞 高野氏」取材で訪問 ・10/12(土)「竹あそび」竹行燈展示、ミニ竹ボウキ製作実演(詳細は別項) ・11/08(金)「長岡中学・総合学習」で講演 ・11/16(土)「環境フェア」竹行燈製作と製作実演 ・11/30(土)「長岡中学野球部」8名土入れ応援 ・02/08(土)「嶺南林業会議所・嶺南林業振興会」見学受入 ・02/25(火)林業改良普及双書「竹林整備と竹材・タケノコ利用の進め方」発行 ～「竹の学校」投稿記事掲載 ・03/12(土)「京都府山城広域振興局副局長・のぞみ工房 施設長」訪問 ～竹チップ研究用資材の事業化の調査 ・03/15(土)「長岡京市森林ボランティア講習」指導応援・昼食・懇談 受入 ・03/27(木)「豊田市亀首町まちづくりの会」見学受入 ・04/27(日)「NTT労連京都メーデーイベント」支援 ～行燈展示、ミニタケボウキ製作実演 ・05/24(土)「NTT労組とのボランティア協業」竹林整備 <p>【活動の成果と課題】 竹行燈作品はレベル・芸術性の評価も高く、展示会で知名度も高くなり、竹の学校の活動と、伐採竹を活用する竹の文化活動の広報に貢献できた。 農閑期と不定期的な活動のため、実質会員以外に竹工芸のみの参加希望者を受け入れていない。竹林整備作業に賛同頂ける希望者ということで現会員のみで活動。</p> <p>長岡京市とのイベントや、インターネットを通じて、見学・調査が増加、広報活動が実ってきている。 ただし、新規加入者がなかったため、広報の重点を会員募集に置くようにしていく。</p>			

⑤ 事業名 地域活動／竹あそびに参加

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
平成24年10月13日(土) 10時～20時	長岡京市長岡公園	延べ65名	市民 7000名	26千円
事業 内 容	<p>【目的】 地域貢献活動と放置竹林の啓発活動 放置竹林の伐採竹を活用頂ける支援団体に、無償提供して、焼却に頼らないで伐採竹を活用する。</p> <p>【内容】 竹あそびに参加して、竹林に興味を持っていただき啓発活動をして行く。 今回も竹灯籠を450本提供、竹林に置き点灯。竹工芸の作品竹行灯も竹林散策道の両サイドに展示し、新しい試みとして投光器によるライトアップも実施。 今年は公園入口表遊歩道にも竹行燈を展示した。 竹ほうき10本を竹あそびに提供とミニ竹ホウキ作りを実施。</p> <p>【活動の成果と課題】 竹工芸に興味を持っていただくことができ、竹に親しむ機会になった。 今年は公園入口表遊歩道にも竹行燈を展示、最初に竹あかりの雰囲気を感じていただけただけだ。 長岡京市民に竹の学校をアピールできた。 今回竹灯籠の提供が主であったが、竹の有効利用のため、竹ほうき作りをして市民に竹に親しんでいただけた。 竹あそびを遊びだけでなく、参加者、協賛グループで竹林整備ボランティアをしていただける仕掛け作りが必要と思う。 竹の学校展示エリアにボランティア活動への参加募集のパネルを用意したが、成果なし。さらに工夫が必要。</p>			

平成25年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算

(平成25年6月1日から平成26年5月31日まで)

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1. 会費・入会金収入		
入会金収入	2,000	
会費収入	31,000	33,000
次年度入会金収入	1,000	
次年度会費収入	29,000	30,000
2. 事業収入		
筍栽培保存継承		
入山協力金	38,000	
筍頒布料	526,050	
発送料、箱代	88,450	
竹材有効活用	8,000	
地域活動	22,000	682,500
3. 補助金収入		
地下水保全活動補助金	161,893	161,893
4. 寄付金収入		
寄付金	30,100	30,100
5. 雑収入		
雑収入	1,141	1,141
当期収入合計		938,634
II 支出の部		
1. 事業		
放置林整備		
地下水保全活動(助成金)	161,893	
地下水保全活動自己負担金	86,749	
荒廃竹林整備	183,048	
筍栽培の保存継承	108,693	
竹材有効活用	10,796	
地域活動	60,821	612,000
2. 管理費		
借入返済金	0	
地代家賃	44,320	
交通費	113,080	
荷造運賃(委託料)	97,904	
補修費	15,388	
消耗品費	6,316	
宣伝広告費	28,240	
福利厚生費	17,595	
通信費	4,500	
交際費	20,767	
会議費	5,073	
租税公課	1,000	
水道光熱費	2,000	
図書費	3,810	
その他	10,445	370,438
III 前受金		30,000
当期支出合計		1,012,438
当期収支差額		-73,804
前期繰越収支差額		746,926
次期繰越収支差額		673,122

平成25年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成26年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)

科目・適用	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	9,005		
預金	694,117		
流動資産合計		703,122	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計(A)			703,122
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	30,000		
流動負債合計		30,000	
2. 固定負債			
借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計(B)			30,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産(C)		746,926	
当期正味財産増加額(D-C)		-73,804	
正味財産合計(A-B=D)			673,122
負債及び正味財産合計(B+D)			703,122

平成25年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成26年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)


科目・適用	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	9,005	
普通預金		
京都銀行	179,200	
ゆうちょ銀行	514,917	
流動資産合計		703,122
2. 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計(A)		703,122
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	30,000	
流動負債合計		30,000
2. 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		30,000
正味合計		673,122

非特定営利活動促進法 第18条の規定に基づき、平成25年6月1日から平成26年5月31日までの事業年度に関わる財産の状況を監査いたしました。

監査の方法は、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、該当事業年度に関わる財産目録、貸借対照表及び収支計算書について検討いたしました。

監査の結果、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、当法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

監事

錦織 努 

監事

竹内 優夫 

平成25年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算

(平成25年6月1日から平成26年5月31日まで)

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1. 会費・入会金収入		
入会金収入	2,000	
会費収入	31,000	33,000
次年度入会金収入	1,000	
次年度会費収入	29,000	30,000
2. 事業収入		
筍栽培保存継承		
入山協力金	38,000	
筍頒布料	526,050	
発送料、箱代	88,450	
竹材有効活用	8,000	
地域活動	22,000	682,500
3. 補助金収入		
地下水保全活動補助金	161,893	161,893
4. 寄付金収入		
寄付金	30,100	30,100
5. 雑収入		
雑収入	1,141	1,141
当期収入合計		938,634
II 支出の部		
1. 事業		
放置林整備		
地下水保全活動(助成金)	161,893	
地下水保全活動自己負担金	86,749	
荒廃竹林整備	183,048	
筍栽培の保存継承	108,693	
竹材有効活用	10,796	
地域活動	60,821	612,000
2. 管理費		
借入返済金	0	
地代家賃	44,320	
交通費	113,080	
荷造運賃(委託料)	97,904	
補修費	15,388	
消耗品費	6,316	
宣伝広告費	28,240	
福利厚生費	17,595	
通信費	4,500	
交際費	20,767	
会議費	5,073	
租税公課	1,000	
水道光熱費	2,000	
図書費	3,810	
その他	10,445	370,438
III 前受金		30,000
当期支出合計		1,012,438
当期収支差額		-73,804
前期繰越収支差額		746,926
次期繰越収支差額		673,122

平成25年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成26年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)

科 目 ・ 適 用	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	9,005		
預 金	694,117		
流動資産合計		703,122	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計(A)			703,122
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	30,000		
流動負債合計		30,000	
2. 固定負債			
借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計(B)			30,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産(C)		746,926	
当期正味財産増加額(D-C)		-73,804	
正味財産合計(A-B=D)			673,122
負債及び正味財産合計(B+D)			703,122

平成25年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成26年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)


科目・適用	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	9,005	
普通預金		
京都銀行	179,200	
ゆうちょ銀行	514,917	
流動資産合計		703,122
2. 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計(A)		703,122
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	30,000	
流動負債合計		30,000
2. 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		30,000
正味合計		673,122

非特定営利活動促進法 第18条の規定に基づき、平成25年6月1日から平成26年5月31日までの事業年度に関わる財産の状況を監査いたしました。

監査の方法は、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、該当事業年度に関わる財産目録、貸借対照表及び収支計算書について検討いたしました。

監査の結果、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、当法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

監事

錦織 努 

監事

竹内 優夫 

平成26年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

(平成26年6月1日から平成27年5月31日まで)

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1. 会費・入会金収入		
前受金	30,000	
入会金収入	1,000	
会費収入	3,000	34,000
2. 事業収入		
筍栽培保存継承		
入山協力金	40,000	
筍頒布料	450,000	
発送料、箱代	90,000	
竹材有効活用	30,000	
地域活動	25,000	635,000
3. 補助金収入		
地下水保全活動補助金	173,880	173,880
4. 寄付金収入		
寄付金	30,000	30,000
5. 雑収入		
雑収入	2,000	2,000
当期収入合計		874,880
II 支出の部		
1. 事業		
放置竹整備		
地下水保全活動(助成金)	173,880	
地下水保全活動自己負担金	86,940	
荒廃竹林整備	80,000	
筍栽培の保存継承	100,000	
竹材有効活用	20,000	
地域活動	50,000	510,820
2. 管理費		
借入金返済支出	0	
地代家賃	45,000	
交通費	120,000	
荷造運賃(委託料)	80,000	
補修費	20,000	
消耗品費	10,000	
宣伝広告費	25,000	
福利厚生費	15,000	
通信費	5,000	
交際費	20,000	
会議費	5,000	
租税公課	1,000	
水道光熱費	2,000	
図書費	5,000	
その他	10,000	363,000
当期支出合計		873,820
当期収支差額		1,060
前期繰越収支差額		673,122
次期繰越収支差額		674,182

平成26年7月5日
NPO法人 竹の学校

平成26年度作業責任者（案）

1. 京たけのこ生産 担当 野本、窪田、塚崎、竹内
頒布 担当 塚崎、川路、原、池田,
2. 経理 担当 小椋、(竹内、大西・・・チェック時限定)
3. 竹林伐採整備 担当 世良田、荒木、梶原
4. 竹工芸 担当 澤、竹内、辻井、高橋
5. 花壇の維持管理 担当 稲岡（喜）、高橋
6. 備品管理（物置管理）担当 野本、竹内、錦織
7. 広報 竹林日記 担当 山本、稲岡
ホームページ管理・エコツアー受入れ担当 稲岡
8. 竹炭作り 担当 窪田、小椋
9. 木工細工（間伐材活用）担当 野本、荒木
10. 竹あそび 担当 梶原、竹内
11. 外渉窓口 担当 世良田（竹カフェ）、稲岡（WEB）

担当者は業務の実行と管理をお願いします。担当以外の人にも積極的な協力をお願いします。